

118 五種

岸田文雄首相が就任後初の施政方針演説を行いました。当初予算案が審議される通常国会での施政方針演説は、政府のその年の基本方針や政策を明らかにするものであります。岸田首相は「経済・社会全体の大変革に取り組む」とか、「新しい時代を拓く」と大見えを切りました。しかし、中身は行き詰まつた自民党政の焼き直しです。大筆抜や改憲などではなく、新たな危険な姿を浮き彫りにしました。国民の願いに背く岸田政治を包囲するこれが義務です。

岸田首相施政方針

主張

立しました。しかし後手後手の対応で、オバクロノ様による島の波を招いてしまった深刻な反省はありません。沖縄ならの在日米軍基地が水際対策の大穴となり、感染発を引き起しちたことも無論です。米兵の検疫は米軍任せで、日本地位認定の抜本改定を実験です。

格差の緩和を拡大）、環境悪化させ、中間層を棄選させたと述べたものの、これが間違ひだったのか具体的に語りません。

岸田首相が昨年の「財政総裁選」で主張した大資産家の金融所得への課税強化は、全く進みました。「デジタル」や「経済安全保障」の姿勢があら

小企業には無縫です
までも買上にことは効果がなかつたのであります
仕組みです。融資資金の引き上げ
も「全国加盟店平取一〇〇〇円」を
四端からじて、全国一律一
500円以上でして、お値段の日本
実な要求からむずかしいものであります。
地球的な課題である気候変動への
対応ですが、国際的
の水素と並んであらわす
王源減田様も云われ
げません。

「信頼と共感」いいながら
「森友・加計・権」などの「政治」
力不足問題や日本学術会議会員の
任免指名についてもまたも論及せら
れました。統計学者の問題の解
説も重々だけです。國語の「信頼」と
「共感」というながら都合の悪い
ことひどいは「人々をする問題」だや。
真相も幹部を「口うする新聞田中
義を転換するだけで雇用・社会保障
・税制の根本的改革や、「やむなし
強い経済」の実現が不可欠です。
鹿田政権に代わる新しい政治を
開いたたかいで重要なことです。